



「かちかち山」



どんなおはなし？



“カチカチというのは、なんの音？”

「かちかち山」

日本の昔話



ある日、おじいさんが山で豆（まめ）まきをしておりました。するとわるだぬきがあらわれ、おじいさんがせっかくまいた豆（まめ）を1つのこらず食（た）べてしまったのです。おこったおじいさんはたぬきをつかまえ、家（いえ）の天井（てんじょう）につるして、また、はたけしごとにでかけました。たぬきは、おばあさんをだましてなわをほどいてもらおうと、おばあさんをきねでたたきたおして、山へにげていってしまいました。おばあさんのかわりはてたすがたを見てかなしむおじいさん。それを見かねたうさぎは、おばあさんのかたきをうつとやくそくしました。ある日、うさぎとたぬきは冬（ふゆ）じたくのため、かやをかっていました。かったかやをせおって、山を下るとちゅう“かちかち”という音がなりひびきます。いったいなんの音・・・？



出演者



さとう じろう
佐藤 二郎さん

ドラマや映画（えいが）、舞台（ぶたい）でかつやくする、はいゆうの佐藤二郎（さとうじろう）さんがたぬき、うさぎ、そしておじいさん、おばあさんを一人でえんじます！おばあさんをころしたたぬきにたいして、うさぎはどんなかたきうちをするのでしょうか？ うさぎとたぬきのかけあいにもちゅうもくしてみてください。



番組イラスト／「読んでみよう！」イラスト制作



イラストレーター
櫻井 砂冬美

